

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE 京都-新築 (2015年版) | 使用評価ソフト: CASBEE 京都-新築2015 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)清水五条ホテル計画	階数	地上7F
建設地	京都市東山区鞠町通五条下る鞠町一丁目399番地	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	308人
気候区分	6地域	年間使用時間	657,000時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年12月 予定	評価の実施日	2017年10月2日
敷地面積	788 m ²	作成者	藤本
建築面積	697 m ²	確認日	2017年10月2日
延床面積	4,607 m ²	確認者	笠井



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
環境負荷をできるだけ小さくするよう、エネルギー・資源に重点をおいて計画した。	特になし。	
Q1 室内環境 内装仕上げ及び下地材は全てF☆☆☆☆を採用する等、室内環境に配慮している。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い躯体材料を使用している。	Q3 室外環境 (敷地内) 排熱をできるだけ高い位置からの放出にする等の配慮をしている。
LR1 エネルギー 太陽光発電設備を設置する等、環境に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 地域産木材を使用する等の配慮をしている。	LR3 敷地外環境 「公共交通利用促進計画書」の届出により、公共交通機関の利用を促す等の配慮をしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される